

# きずなの郷



札幌	2時間30分	道東自動車道経由・170km	新 得
旭川	2時間30分	国道237+38号線経由・130km	
帯広	50分	国道38号線経由・45km	
札幌駅	1時間42分		
東京	1時間10分	新千歳空港 1時間15分	
大坂	1時間40分	帯広空港 40分 帯広駅 30分	
東京	1時間35分	帯広空港 60分	

● 車 ● JR ● 飛行機 ● バス

## 社会福祉法人 厚生協会

社会福祉法人厚生協会では、法人各施設・事業所の様子や情報をホームページやブログで公開しています。ご意見やご希望についても電話・Eメールで受け付けています。又、ご希望の方は見学することができますのでお問い合わせ下さい。

厚生協会ホームページ / <http://www.wakafuji.or.jp>

ブログ / 「わかふじ寮歳時記」 <http://blog.canpan.info/wakafuji/>

「やすらぎ荘ブログ」 <http://blog.canpan.info/yasuragi-so/>

E-mailアドレス / [wakafuji@netbeet.ne.jp](mailto:wakafuji@netbeet.ne.jp) (わかふじ寮) [wakafuji@rose.ocn.ne.jp](mailto:wakafuji@rose.ocn.ne.jp) (屈足わかふじ園)

[yasuragi@rainbow.ne.jp](mailto:yasuragi@rainbow.ne.jp) (やすらぎ荘) [himawari@bb.rainbow.ne.jp](mailto:himawari@bb.rainbow.ne.jp) (ひまわり荘)

[ssh5209@khaku.plala.or.jp](mailto:ssh5209@khaku.plala.or.jp) (厚生協会新得白生舎)

「屈足わかふじ園日記」 <http://blog.canpan.info/wakafujenn/>

「ひまわり荘Diary」 <http://blog.canpan.info/48-himawari/>

社会福祉法人

厚生協会

ご案内



理事長 鈴木 政輝

## 感謝ときずな

厚生協会は、まだ戦後の混乱が続く昭和28年に聴覚障害者の職業能力の向上と自立支援のため創設された、身体障害者の分野では北海道で2番目となる社会福祉法人です。また当時の表現で言う、収容施設として全国で第1号の指定を受けています。

平成16年に発行しました50周年記念誌を読みますと当時の生活が如何に大変だったのかがよく分かります。日中は町内の建具屋さんで普通に仕事をし、夜になってから社長の好意で機械・設備をお借りしての職業訓練（制度化される以前のことで、職業訓練を受けられる場が他になかった）を行うことの繰り返しで、現在のような飽食の時代にあっては想像すら出来ないよう

な困窮が続いたようです。授産製品が売れず利用者の食事も満足に摂れなかったこともあるようで、当時利用者として働かれていた方々の座談会で、ご苦労や生活ぶりが個々のエピソードや当時の写真で窺うことが出来ます。

しかし、ただ生活が大変だったということではなく、生活を支えていただいた方、製品を買っていただいた方、温かく励ましていただいた方などの思い出が綴られています。有名無名の多くの方々との関わりを通して、法人の基本理念の基となる「感謝ときずな」の精神が生まれました。

田村政雄初代理事長や藤川マキエ、田中皎一両先生の福祉の熱い思いが、歴代の理事長や職員に脈々と受け継がれ、今日に至っています。

現在、法人内の施設・事業所を利用されている皆さんは、700名を超える程になっています。障害のある方、高齢者の方が日常生活をされており、また創設時の木工を中心にした授産事業は今も継続しています。さらに日帰りサービスや訪問介護、居宅介護など地域の人々を対象にした福祉事業も幅広く行っています。

利用者の皆さんは幸せになるためにここを利用されています。その方その方の人生があり、またご縁があって当厚生協会にお越しいただいていることは、大変有難く感謝しております。利用者の皆さんが安心して楽しく、普通に過ごせるよう職員は額に汗して、懸命に働いています。

今の厚生協会があるのも、国や道、新得町はもとより地域の人々や良き理解者の方々からの幅広い物心両面に亘りますご協力のお陰と、心より感謝申し上げます。

福祉制度が激変する中であっても、厚生協会は今後も一層信頼性の高い経営を目指し、法人組織の強化に努め、地域発展への貢献を図り、そして何よりも地域の皆様から信頼される福祉の拠点となるよう、役職員一同「感謝ときずな」の精神を忘れることなく努力してまいります。

### 社会福祉法人厚生協会 法人の理念

—法人としての全体目標—

- (1) 人間の尊厳を守る。
- (2) 基本的人権を尊重する。
- (3) 利用者の自立を支援する。



昭和40年代の作業場の様子



入所式の様子（昭和40年）



昭和40年代の展示即売会の様子



事務所で藤川マキエ・田中皎一両氏を囲んで



入所式で、木工用の工具一式をもらって



木工技能競技会の様子（昭和44年）



完成直後の食堂と女子棟（昭和52年）



昭和52年頃の施設全景



故田中元理事長が描いた将来の施設構想。ほぼ理想どおりになりました



屋外でテントを張っての展示即売会もよく行っていました



サンデー九の取材を受けて



平成8年旧わかふじ寮取り壊し前の全景



取り壊し直前の管理棟



取り壊し直前の木工作業棟



解体工事前日、長年お世話になった建物の前で

## 地域交流ホーム ふじ

平成15年12月整備

〒081-0023 上川郡新得町西3条北1丁目

TEL 0156-64-5001・FAX 0156-64-5522

- 建物 528.62㎡
- 建設費 99,604,323円
- 日本自転車振興会補助： 26,600,000円
- 新得町補助： 26,000,000円
- 法人借入金： 38,000,000円
- 法人負担金： 9,004,323円

- 主な設備
- 多目的ホールA 141㎡
- 多目的ホールB 144㎡
- A・B合計285㎡



# 社会福祉法人 厚生協会の事業

理事会

理事7名

評議員会

評議員15名

監事

2名

障害者支援施設 わかふじ寮

施設入所支援（日中サービス[就労継続支援B型]+[就労移行支援]）・指定特定相談支援事業所

障害者支援施設 第2わかふじ寮

施設入所支援（日中サービス「生活介護」）

障害福祉サービス事業所 わかふじワークセンター

就労継続支援B型

共生型ホーム さくら I・II・III

障害者支援施設 屈足わかふじ園

施設入所支援（日中サービス[生活介護]）・短期入所・指定特定相談支援事業所

聴覚障害者養護老人ホーム やすらぎ荘

特別養護老人ホーム 新得やすらぎ荘

地域密着型特別養護老人ホーム 新得やすらぎ荘

短期入所生活介護事業所 新得やすらぎ荘

居宅介護支援事業所 新得やすらぎ荘

訪問介護事業所・介護予防訪問介護事業所 新得やすらぎ荘

通所介護・介護予防通所介護事業所 日帰りサービスセンターやすらぎ荘

通所介護・介護予防通所介護事業所 清水デイサービスセンターやすらぎ荘

通所介護・介護予防通所介護事業所 日帰りサービスセンターやすらぎ荘 たんぼぼ

通所介護・介護予防通所介護事業所 屈足デイサービスセンターやすらぎ荘

養護老人ホーム ひまわり荘

特定施設入居者生活介護事業所 ひまわり荘

訪問介護事業所 ひまわり荘

社会福祉法による授産施設 厚生協会新得白生舎

## 厚生協会 思い出のアルバム



創設当初のわかふじ寮。初代理事長田村政雄氏から寄贈を受けた民家でした



創設者の藤川マキエ・田中皎一両氏



昭和33年お年玉年賀はがきの寄付金を受けて建設した作業棟



初めて買ったテレビを開んで



緑創で



出来上がった家具を前にして

# 沿革の大要 (法人)

昭和28年4月  
上川郡新得町東1線42番地において、藤川マキエ、田中岐一の両氏が田村政雄氏より土地、建物の提供を受け、北海道身体障害者授産施設を創設する。

昭和28年5月  
同町西1線48番地に収容施設わかふじ寮を併設する。

昭和29年  
社会福祉法人の認可申請を行う。

昭和30年12月  
社会福祉法人として厚生大臣より認可され社会福祉法人厚生協会わかふじ寮と改名する。初代理事長に田村政雄・初代施設長に藤川マキエが就任する。(第1種社会福祉事業開始届出完了)

昭和33年8月  
お年玉賀はがき寄附金の配分を主財源として水道モルタル2階建木工指導室330㎡を新築し、木工機械設備を備える。

昭和33年9月  
厚生大臣より身体障害者収容委託施設として指定を受ける。

昭和34年4月  
天皇陛下より御下賜金を拝領する。

昭和35年12月  
お年玉はがき寄附金の配分を主財源として収容施設わかふじ寮耐震プロック造283㎡を新築し、熱風式暖房設備を併設する。

昭和36年3月  
地方振興助成金を受け、機械設備を増設する。

昭和36年4月  
天皇陛下より御下賜金を拝領する。

昭和37年9月  
お年玉賀はがき寄附金及び道費の補助金を主財源として延用管理棟木造モルタル仕上2階建438.5㎡を新築し、暖房設備を併設する。

昭和38年4月  
天皇陛下より御下賜金を拝領する。

昭和38年6月  
収容定員50名に増員の許可を受ける。

昭和39年12月  
道共同募金・日本自転車振興会(競輪)の補助及び道費補助の配分を受け、鉄骨プロック造2階建木工指導室330㎡を増築し、機械設備を備える。

昭和41年3月  
道共同募金及び日本自転車振興会(競輪)の補助を受け、鉄骨プロック造平屋98.4㎡の水造乾燥室を新築し、プレス室ボイラー室併設する。

道共同募金及び町費補助によって、隣接敷地2,227.5㎡を取得する。

昭和43年3月  
日本自転車振興会(競輪)の補助金を主財源として、鉄骨プロック造2階建330㎡の木工指導室を増築する。

昭和44年3月  
道費補助金を主財源として、収容棟耐震プロック造2階建432㎡を増築し、定員70名に増員する。

昭和45年9月  
道共同募金の配分金並びに町補助金を主財源として、管理棟浴室30.84㎡を増築する。

昭和46年4月  
理事長藤川マキエ氏が社会事業功労者として、勲五等瑞宝章を受章する。

昭和47年4月  
隣接敷地2,187㎡を取得する。

昭和47年12月  
木工指導室に共同募金の配分金を主財源として、熱風式暖房装置を設置する。

昭和48年12月  
道共同募金の補助金を主財源として、木工指導室に暖房設備を完成させる。

昭和49年3月  
施設製作の家具2点が道産優良推奨品として指定を受ける。

昭和49年6月  
車庫6㎡カウチタン張り新築する。

昭和49年12月  
日本自転車振興会(競輪)補助金を主財源として鉄骨2階建一部平屋木工指導室476㎡を増築し、暖房設備、リフト設備を併設し機械設備の充実を図る。

道共同募金の配分金を主財源として、ボイラー室及び炊事室の改装工事を行い、炊事設備の改善を図る。

昭和50年2月  
全国優良家具建具認定委員会より全国業者の中から当施設を全国優良家具建具取扱認定企業として認定を受ける。

昭和50年3月  
道産推奨家具に3点合格し、前年と共に5点の認定を受ける。

昭和50年11月  
日本自転車振興会(競輪)の補助金を主財源として、職員住宅2棟4戸188.1㎡を新築する。

昭和50年12月  
中央競馬社会福祉財団の補助金を財源として、集塵室48.6㎡を新築し、集塵装置を木工機械に附設する。

昭和52年3月  
日本自転車振興会(競輪)の補助金を主財源として、収容施設女子収容棟520㎡を新築する。

昭和52年8月  
収容人員95名に増員の認可を受ける。

昭和52年12月  
中央競馬社会福祉財団の補助金を主財源として、自家受電装置及び木工訓練機械の増設を図る。

昭和53年12月  
地方振興資金及び道費補助を受け、木工機械の改善増強を図る。

道費補助を受け、消防用設備(消防ポンプ及び貯水槽)の改善を図る。

昭和54年3月  
日本自転車振興会(競輪)の補助金を受け、職員住宅2階建1棟4戸188.04㎡を新築する。

昭和54年8月  
大型洗濯機及び乾燥機を地方振興資金の補助金を受けて整備する。

昭和54年12月  
地下貯油タンクの設備及び敷地内の舗装を行う。

丸紅基金の助成により、10人乗りワゴン型車庫1台を整備する。

昭和55年4月  
新得町より老人ホーム建設敷地の一部として土地15,669.43㎡の寄付を受ける。

昭和55年8月  
道共同募金の補助を受け、わかふじ寮暖房機器の改善を図る。

昭和55年12月  
道費補助とIBM基金の助成を受け、わかふじ寮木工機械の設備増強を図る。

昭和56年3月  
日本自転車振興会(競輪)の補助金を主財源として、聴覚障害者養護老人ホームやすらぎ荘(定員50名)1,468.46㎡を新築する。

昭和56年4月  
やすらぎ荘を開所、田中岐一が初代施設長となる。

昭和56年9月  
道(地方振興)補助金を受け、収容棟老朽屋根修繕を行う。

昭和56年10月  
道(地方振興)補助金を受け、やすらぎ荘にリハビリ機器を整備する。

昭和57年11月  
日本自転車振興会(競輪)の補助金を主財源として、やすらぎ荘職員住宅2階建1棟6戸190.6㎡を新築する。

昭和57年12月  
丸紅基金の助成により、7人乗り2tトラック1台を整備する。

昭和58年4月  
道共同募金の補助により、やすらぎ荘にワゴン型車庫1台を整備する。

昭和58年5月  
清水基金の助成により、9人乗り大型バスを購入する。

昭和58年12月  
道費補助を受け、やすらぎ荘前庭アスファルト舗装と併せて一部排水設備を整備する。

日本テレビ「24時間テレビ愛は地球を救う」チャリティーより、やすらぎ荘に車椅子用リフト付車庫の寄贈を受ける。

昭和60年1月  
藤川マキエ理事長急逝。新得町葬により葬儀を執行する。

後任理事長及びわかふじ寮施設長に田中岐一が就任する。やすらぎ荘の施設長に兼任として大門口功が就任する。

昭和60年7月  
新得町よりカラ松加工場並びにうるし塗工場建設の条件で半通り北6丁目1,638.4㎡を無償譲渡、1,634.53㎡を無償貸与を受ける。

昭和60年11月  
中央競馬社会福祉財団の補助金を受け、カラ松加工場372.739㎡を新築する。

昭和60年12月  
日本自転車振興会(競輪)の補助金を受け、カラ松加工機一式(12台)を設置する。

昭和61年7月  
共同募金の補助により、行幸用テント3張を整備する。

昭和61年9月  
藤川記念碑建替

昭和62年3月  
清水基金の助成により、うるし塗工場77.76㎡を新築し、機械、備品を整備する。

昭和63年7月  
新得町社会福祉協議会愛情銀行等の助成により、特別養護老人ホーム建設用地として太田英義氏より土地2,535.1㎡を取得する。

平成元年10月  
道共同募金の補助により、全自動木材乾燥機を設置する。

平成2年4月  
日本自転車振興会(競輪)の補助金を主財源として特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘並びに在宅老人日帰りサービスセンターやすらぎ荘3,145.15㎡を新築し開所する。

施設長に大門口功が就任する。

平成2年8月  
通所事業(定員5名)を新たに開始する。

平成3年4月  
わかふじ寮田中岐一施設長退任により、後任施設長に田中雅之が就任する。

平成3年10月  
通所部定員10名に増員の認可を受ける。

平成3年11月  
女子部作業棟162㎡を新築する。

平成3年12月  
丸紅基金の助成により、4tトラック1台を整備する。

平成4年4月  
認可外保育施設たんぼほ園を開園する。

平成5年3月  
わかふじ寮通所部定員15名に増員の許可を受ける。

平成5年11月  
新得町助成及び法人本部自己資金により、重度身体障害者授産施設建設敷地として、太田英義氏より土地16,570㎡を取得する。

平成7年4月  
田中岐一理事長退任により、後任理事長に山本実氏が就任する。

平成7年7月  
共同募金の補助により、行幸用テント2張を整備する。

平成7年12月  
わかふじ寮通所部定員19名に増員の許可を受ける。

道(地方振興)補助により、ステンレス製移動炭化炉及びソルベントリサイクラーを整備する。

平成8年4月  
日本自転車振興会(競輪)の補助金を主財源として、重度身体障害者授産施設第2わかふじ寮(定員50名)を新築し開所する。

初代施設長に田中雅之が就任する。

重度身体障害者授産施設開設に伴い、わかふじ寮の定員を40名に減員する。

平成8年7月  
新得町の補助により第2わかふじ寮の外構工事を行う。

平成9年3月  
中央競馬馬主社会福祉財団の補助金を主財源として、やすらぎ荘食堂の増築118.4㎡を行う。

平成9年9月  
わかふじ寮老朽改築移転用地として、第2わかふじ寮隣接地5,218㎡を太田英義氏より購入する。

平成9年10月  
トムラ登山学校レイクインを利用し、サテライトアイサービス事業を開始する。

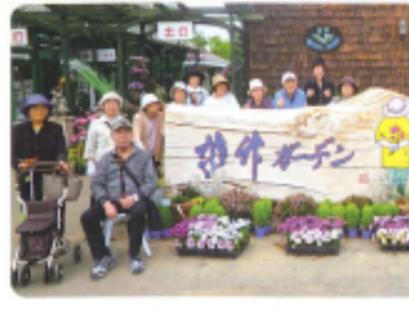
平成10年5月  
寄付金付お年玉付郵便葉書に付加される寄付金の配分を受け、特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘に通院用車庫を整備する。

身体障害者療護施設建設用地として、新得町の助成により、新得町旭足旭町1丁目土地4,958.66㎡を取得する。

平成10年7月  
新得町西2線38番地に、わかふじ寮家族会でゲストハウスを建設する。

国庫補助を主財源として、身体障害者授産施設わかふじ寮の老朽改築を行い、第2わかふじ寮に併設移転し、施設長に桑原隆俊が就任する。合わせて国庫補助を主財源として、身体障害者通所授産施設わかふじワークセンター(定員40名)を開所し、施設長に田中雅之が就任する。わかふじワークセンターの開所に伴い、わかふじ寮の定員を30名に減員する。

平成10年10月  
身体障害者療護施設建設用地として、新



地域交流スペース「なでしこ」

## 特定施設入居者生活介護事業所

### ひまわり荘

#### 目的

養護老人ホームひまわり荘の利用者を対象に要介護状態になり日常生活で介護を必要とされる方に介護サービスを行います。

- 開設 平成20年4月1日
- 利用定員 29名
- 事業者番号 0174701193

## 訪問介護事業所

### ひまわり荘

#### 目的

特定施設入居者生活介護事業所ひまわり荘の利用者を対象に身体介護、生活援助等の介護を行います。

- 開設 平成20年4月1日
- 事業者番号 0174701193

# ひまわり荘



所在地 〒081-0023 上川郡新得町西3条北1丁目5番地6  
 連絡先 TEL 0156-64-5246 FAX 0156-69-5003  
 Mail himawari@bb.rainbow.ne.jp

## 施設の理念

1. 利用者が、安心して快適な日々をおくれるよう支援します。
2. 利用者の個々の能力を高め自立への支援に努めます。
3. 利用者ひとりひとりを尊重し、その人らしい生活を援助します。
4. 利用者が清潔な環境で過ごせるよう努めます。
5. 専門職を自覚し、日々研鑽に励み自己啓発に努めます。

## 目的

環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けるのが困難な方に入所して頂き、自立した日常生活を営み、社会活動に参加できるように援助を行います。

## 利用できる方

65歳以上の高齢者で行政より入所が必要と判断された方。

## 申込方法

利用希望の方は、ご本人が居住している市町村にご相談ください。

## 費用

利用中の費用は、市町村が負担します。但し、入所者及び扶養義務者の負担能力に応じ、居住していた市町村が費用の一部を徴収します。

## 年間行事予定

4月	交通安全教室	10月	一泊旅行・移転記念食事会
5月	合同花見・E線り旅行・端午の集い	11月	保育所交流会
6月	家族との交流会	12月	クリスマスの集い
7月	ふれあい盆踊り	1月	新年会・正月遊び
8月	盆法要・喫茶店	2月	節分
9月	敬老会	3月	ひな祭り・家族との集い

## 施設概要

- 沿革 昭和48年10月13日 開設(新得町)  
 平成20年4月1日 厚生協会が指定管理者の指定を受ける  
 平成21年4月1日 新得町から厚生協会に施設の運営が完全移譲  
 平成23年10月1日 施設の老朽化による移転改築工事終了し新施設に移転

- 定員 50名
  - 敷地面積 13,383㎡
  - 建物面積 2,817㎡
  - 建設費 1,055,122,220円
- |          |              |
|----------|--------------|
| 国、道補助金   |              |
| 建築工事     | 211,600,000円 |
| 木質内装     | 35,175,000円  |
| 地域交流スペース | 30,000,000円  |
| 新得町補助金   | 716,284,700円 |
| 法人負担金    | 62,062,520円  |



居室



娯楽室



浴室



機械浴室

得町の助成により、新得町旭見旭町1丁目、旭町2丁目、旭町東1丁目Eに土地6,659㎡を取得する。  
 平成10年12月 山本実理事長退任により、後任に佐々木忠利が理事長に就任する。  
 平成11年2月 中央競馬馬主社会福祉財団の補助金を主財源として、ペーカリー機器の整備を行い、わかふじ寮内に「パン工房わかふじ」を開店する。  
 平成11年7月 山本実前理事長が急逝。法人審により葬儀を執行する。  
 平成12年1月 身体障害者療養施設職員住宅建設用地として、新得町旭見旭町1丁目に、新得町土地開発公社より、土地1,740㎡を取得する。  
 平成12年3月 国庫補助を主財源として、新得町旭見旭町1丁目、旭見わかふじ職員住宅、職員専用2階建1棟12戸、世帯用平屋建1棟2戸を新築する。サテライトアイサービス事業を廃止する。  
 平成12年4月 身体障害者療養施設旭見わかふじ園(定員50名)及び身体障害者デイサービスセンター旭見わかふじデイサービスセンター3,516,741㎡を新築し開所する。初代施設長に田中雅之が就任する。就任に伴い、わかふじ寮及び第2わかふじ寮の施設長に桑原隆俊、わかふじワークセンターの施設長に鈴木勝が就任する。日帰りサービスセンターやすらぎ荘が、新得町保健福祉センターなごみに移転し、センター長に清野光彦が就任する。介護保険制度施行により、「特別養護老人ホーム」が「介護老人福祉施設」に、「在宅老人日帰りサービスセンター」が「通所介護事業所」に変わり、仮開入所生活介護事業所が独立した事業となる。  
 平成12年11月 わかふじ寮創設者の田中敏一氏が急逝。法人審にて葬儀を執行する。中央競馬馬主社会福祉財団の助成を受け、旭見わかふじ園に車椅子用リフト車を整備する。  
 平成13年4月 居宅介護事業所新得やすらぎ荘、訪問介護事業所新得やすらぎ荘を開所し、施設長に大山口功が就任する。在宅老人日帰りサービスセンターやすらぎ荘を新得やすらぎ荘内に移転する。清野光彦センター長が退任し、大山口功がセンター長を兼務する。  
 平成15年4月 支援費制度導入により、重度身体障害者療養施設が廃止され、第2わかふじ寮が身体障害者療養施設に変更となる。わかふじ寮施設長に田中雅之が就任し、桑原施設長の職務を解く。旭見わかふじ園施設長に藤巻敏が就任する。わかふじ寮の定員を40名に増員し、第2わかふじ寮の定員を40名に減員する。  
 平成15年8月 道共同募金会の補助を受け、わかふじワークセンターに8人乗りワゴン車2台を整備する。  
 平成15年12月 わかふじ寮・第2わかふじ寮・わかふじワークセンターに併設して、日本自転車振興会の補助を主財源に地域交流ホーム「ふじ」528,625㎡を整備する。  
 平成16年3月 在宅老人日帰りサービスセンターの増築210.16㎡を行う。  
 平成16年3月 日本財団の助成を受け、旭見わかふじ園に車椅子用軽自動車を整備する。  
 平成16年12月 日本自転車振興会の補助を主財源に木工作業棟921.2㎡を増築する。日本郵政公社・寄付金付お年三付郵便業者等寄付金を主財源に軽作業棟382.32㎡を建設する。  
 平成17年3月 日本財団の助成を受け、わかふじワークセンターに送迎用マイクロバスを整備する。  
 平成17年4月 やすらぎ荘・新得やすらぎ荘施設長、日帰りサービスセンターやすらぎ荘センター長、居宅介護支援事業所、訪問介護事業所管理者大山口功が退任。後任に高畑潤子が就任。  
 平成17年10月 日本損害保険協会の助成を受け、新得やすらぎ荘に車椅子用リフト車を整備する。  
 平成17年11月

車両競技公益資金記念財団の助成を主財源として、やすらぎ基屋上防水工事を行う。  
 平成18年10月 障害者自立支援法施行に伴い、わかふじ寮とわかふじワークセンターが新体系に移行する。わかふじ寮が障害者支援施設「就労移行支援40名・施設入所支援40名」、わかふじワークセンターが障害福祉サービス事業所「就労移行支援18名、就労継続支援B型22名」となる。  
 旭見わかふじデイサービスセンターが「身体障害者デイサービス事業」から「市町村との契約による経過的デイサービス事業」に変更になる。  
 平成19年9月 日本財団の助成を主財源として、旧伏魔小学校を改修しわかふじ佐賀工場(ペットフード生産工場)を整備する。  
 平成19年10月 新得町補助を主財源として、新得やすらぎ荘ショートステイ棟(定員10名)248.16㎡を増築する。  
 平成20年4月 新得町から町立養護老人ホームひまわり荘(定員50名)の指定管理を受け、事業を開始する。初代施設長に佐藤隆明が就任する。  
 平成20年9月 財団法人JKAの補助を主財源に移送車両(車椅子仕様スロープ式)をやすらぎ荘に整備する。  
 平成20年10月 日本財団の助成を主財源として、わかふじワークセンターにパン製造機器を整備する。  
 平成21年1月 日本財団の助成を主財源として、訪問介護事業所新得やすらぎ荘にヘルパー車を整備する。  
 平成21年2月 国庫補助(基盤整備事業)を主財源として、わかふじワークセンター就労訓練棟197.36㎡を増築する。  
 平成21年3月 認可外保育施設たんば(調園)を開園する。  
 平成21年4月 旭見わかふじ園施設長藤巻敏が退任し、後任に第2わかふじ寮施設長の桑原隆俊が就任する。第2わかふじ寮の施設長を田中雅之が兼務する。養護老人ホームひまわり荘が厚生協会に完全移譲される。  
 平成21年4月 たんばは園の建物を利用し、日帰りサービスセンターやすらぎ荘の午前デイ、午後デイを開始する。  
 平成21年9月 日本財団の助成を主財源として、わかふじ寮に2トランクを整備する。  
 平成21年10月 わかふじ寮の実働事業を「就労移行支援6名、就労継続支援B型31名、施設入所支援40名」、わかふじワークセンターの実働事業を「就労継続支援B型40名」に変更する。  
 平成21年11月 旭見わかふじ園が新体系に移行。身体障害者療養施設から障害者支援施設「生活介護55名、施設入所支援52名」に事業変更する。清水町南4条9丁目12番地2に清水アイサービスセンターやすらぎ荘を開所する。  
 平成22年3月 養護老人ホームひまわり荘移転改築用地として、新得町の助成を受け太田真弘氏より新得町西3条北1丁目5番地6の土地13,383㎡を取得する。  
 平成22年4月 佐々木忠利理事長が退任し、後任に鈴木政輝が就任する。  
 平成22年8月 国庫補助(共生型基盤整備事業)を主財源として共生型ホームさくらII(240.76㎡)を建設し、指定障害福祉サービス事業所さくら(指定共同生活介護・指定共同生活援助)定員4名、共生型ホームさくら(高齢者向け住宅)定員2名を開所する。  
 平成22年11月 わかふじ寮の施設入所支援の定員を34名に減員する。  
 平成23年10月 国庫補助(共生型基盤整備事業)を主財源として共生型ホームさくらII(240.76㎡)を建設し、指定障害福祉サービス事業所さくら(指定共同生活介護・指定共同生活援助)の定員を8名、共生型ホームさくら(高齢者向け住宅)の定員を4名に変更する。  
 平成23年10月

道及び町補助金を主財源とした、養護老人ホームひまわり荘老朽化に伴う移転改築工事(2639.48㎡)及び国庫補助を主財源とした地域交流スペースをでしこ(177.62㎡)が完成し、旧施設より移転する。  
 平成24年2月 国庫補助(大規模生産設備事業)を主財源として、わかふじワークセンター(わかふじ佐賀工場)にペットフード充填機・ロータリーポンプユニットを整備する。  
 平成24年3月 事業転換促進交付金を主財源として障害者グループホームさくらIII(240.76㎡)を建設し、指定障害福祉サービス事業所さくら(定員14名)に変更する。わかふじ寮の施設入所支援の定員を24名に減員する。  
 平成24年3月 養護老人ホームひまわり荘施設長佐藤隆明氏が退任し、後任施設長に田中雅之が就任する。  
 平成24年4月 第2わかふじ寮が新体系に移行。身体障害者療養施設から障害者支援施設「生活介護40名、施設入所支援40名」に事業変更する。  
 平成24年12月 新得町の定住住宅建設促進事業の助成を受け、新得町西3条南1丁目1に職員住宅「単身者用3棟(12戸)、世帯用1棟(2戸)」を新築する。  
 平成25年3月 国庫補助(基盤整備事業)を主財源として、わかふじ寮軽作業棟に就労訓練棟149.058㎡を増築し、合わせて既存の改築をする。  
 平成25年4月 旭見わかふじ園が社会事業授産施設を運営している、社会福祉法人新得白生舎と合併する。合併に伴い、社会福祉法人新得白生舎は解散する。田中雅之ひまわり荘施設長業務が解かれ、後任に御中直美が就任する。  
 平成25年6月 旭見アイサービスセンターやすらぎ荘を新得町旭見旭町1丁目に定員10名で開設する。  
 平成25年8月 やすらぎ荘老朽改築工事着工。工事に伴い建物解体作業のため、日帰りサービスセンターたんばは、居宅介護支援事業所、訪問介護事業所を新得町西3条南7丁目に移転する。  
 平成25年11月 国庫補助金(耐震化整備促進事業)を主財源に、さくらIにスプリンクラーを整備する。  
 平成26年2月 日本財団の助成を受け、わかふじワークセンターに出張販売車、わかふじ寮にワゴン車(商品搬送用)、訪問介護事業所にヘルパー車を整備する。  
 平成26年8月 国庫補助を主財源にやすらぎ荘移転老朽改築工事が終了し、合わせて日帰りサービスセンターやすらぎ荘、居宅介護支援事業所、訪問介護事業所も同建物に移転する。  
 平成27年1月 新得町の定住住宅建設促進事業の助成を受け、新得町西3条南1丁目1に職員住宅「単身者用1棟(4戸)」を新築する。  
 平成27年3月 北海道及び新得町補助金を主財源とする厚生協会新得白生舎の老朽移転改築工事が竣工し、新得町西1条北1丁目の新工場でクリーニング事業を開始する。  
 平成28年1月 サテライト事業所として、訪問介護事業所やすらぎ荘を旭見町新得2丁目に開設する。  
 平成28年2月 新得町の定住住宅建設促進事業の助成を受け、新得町西1条北1丁目1に職員住宅「単身者用1棟(8戸)」を新築する。  
 平成28年3月 厚生協会新得白生舎の新得町所有地(新得町西1条北1丁目54番地3のうち2,769㎡)を法人で購入する。  
 平成28年4月 新得町の補助金を主財源として、地域密着型特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘(20床)を新得町西3条北1丁目1に開設し、併せてショートステイを増床(2床)する。

障害者支援施設

# わかふじ寮

昭和28年4月1日開所（平成10年7月1日老朽改築）  
〒081-0023 上川郡新得町西3条北1丁目  
TEL 0156-64-5001・FAX 0156-64-5522

### ●サービスの種類

- 就労移行支援（日中） 定員6名
- 就労継続支援B型（日中） 定員34名
- 施設入所支援（夜間） 定員24名

### ●北海道指定 0114700669

- 建物 わかふじ寮 1,347.29㎡
- 投産工場 1,557.58㎡
- 製品倉庫 77.76㎡



- 建設費 394,825,000円
- 国庫補助金 159,183,000円
- 新得町補助金 118,659,000円
- 社会福祉医療事業団借入金（新得町債務負担） 93,200,000円
- 北海道新聞社会福祉振興基金借入金（法人債務負担） 18,000,000円
- 法人負担金 5,782,000円



障害福祉サービス事業所

# わかふじワークセンター

平成10年7月1日開所  
〒081-0023 上川郡新得町西3条北1丁目  
TEL 0156-64-5001・FAX 0156-64-5522

- サービスの種類 就労継続支援B型
- 定員 40名
- 北海道指定 0114700693
- 建物 287.89㎡

- 建設費 255,088,000円
- 国庫補助金 152,886,000円
- 新得町補助金 31,231,000円
- 社会福祉医療事業団借入金（新得町債務負担） 67,000,000円
- 法人負担金 3,971,000円



通所者の家庭に設置している、携帯電話を使った聴覚障害者用の緊急通報システム

## 施設利用のしおり 【利用できる対象者及び支援内容】

### 《利用できる対象者》

- 就労移行支援事業 わかふじ寮  
主に聴覚障害者で一般就労を希望する方（64歳以下）が利用できます。（2年間）  
就労に向けた基本的知識、能力の向上、事業所内や企業における作業や実習、適性に合った職場探し、就労後の職場定着のための支援を行います。
- 就労継続支援B型事業 わかふじ寮・わかふじワークセンター  
主に聴覚障害者で、一般企業では雇用につけづかなかった、作業意欲のある方に対し働く場を提供し、就労移行に向けた知識、能力の向上及び工場向上に必要な支援を行います。
- 生活介護事業 第2わかふじ寮  
主に聴覚障害者で日常生活を送る上での食事、入浴、排泄等の支援を受けながら自立した生活を希望されている方。創作的活動、生産活動の機会及びレクリエーション、余暇活動等を提供し、日常生活の質の維持向上に向けた支援を行います。
- 施設入所支援 わかふじ寮・第2わかふじ寮  
主に聴覚障害者で日中は障害福祉サービス事業所を利用し、施設内において自立した生活を希望されている方。住まいの場として日常生活上の相談支援、健康管理、夜間における排泄等の介護の支援を行います。

地域密着型通所介護事業所

平成21年11月1日 開設

# 清水デイサービスセンターやすらぎ荘

所在地	〒089-0112 上川郡清水町南4条9丁目12-2
連絡先	電話番号・FAX：0156-67-7300
実施地域	清水町内
営業時間	①9時00分～12時10分 ②13時30分～16時40分
営業日	月曜日～金曜日（土曜日、日曜日、12月31日～1月3日を除く）
定員	①15名 ②10名

### 目的

在宅での日常生活動作支援を重視し、転倒予防、認知症や廃用症候群防止等リハビリテーションと予防を目的としております。少人数制で一人ひとりの状態、希望に添ったサービスが提供できるよう専門職の理学療法士がリハビリの計画・実施を行います。

### 利用できる方

要介護認定、介護予防・生活支援サービス事業対象者と認定とされた方。



地域密着型通所介護事業所

平成25年6月1日 開設

# 屈足デイサービスセンターやすらぎ荘

所在地	〒081-0161 上川郡新得町屈足柏町1丁目51番地
連絡先	電話番号・FAX：0156-65-3900
実施地域	新得町内（トムラウシ地区を除く）
営業時間	8時30分～17時30分
営業日	月曜日～金曜日（土曜日、日曜日、12月31日～1月3日を除く）
定員	10名

### 目的

要介護又は要支援状態となった場合においても、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な生活上の世話、支援及び機能訓練を行うことにより心身機能の維持回復、社会的孤立感の解消、家族の身体的・精神的負担の軽減を図る事を目的としています。

### 利用できる方

要介護認定、介護予防・生活支援サービス事業対象者と認定された方。



平成 2年 4月 1日 開設  
平成26年 8月 移転改築

通所介護事業所

# 日帰りサービスセンターやすらぎ荘

所在地	〒081-0023 上川郡新得町西3条北1丁目
連絡先	電話番号：0156-64-5278 FAX：0156-64-3157
実施地域	新得町内
営業時間	8時30分～18時30分
営業日	月曜日～土曜日(日曜日、12月31日～1月3日を除く)
定員	25名

目的

要介護又は要支援状態となった場合においても、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話、支援及び機能訓練を行うことにより心身機能の維持回復、社会的孤立感の解消、家族の身体的・精神的負担の軽減を図ることを目的としています。

利用できる方

要介護認定、介護予防・生活支援サービス事業対象者と認定された方。



平成25年 8月 1日 開設

地域密着型通所介護事業所

# 日帰りサービスセンターやすらぎ荘たんぽぽ

所在地	〒081-0033 上川郡新得町西3条南7丁目1-71
連絡先	電話番号・FAX：0156-64-4106
実施地域	新得町内(トムラウシ地区を除く)
営業時間	① 8時30分～12時30分 ② 13時00分～17時20分
営業日	①月曜日～土曜日 ②火・木・金曜日 (日曜日、12月31日～1月3日を除く)
定員	①・②各10名

目的

要介護又は要支援状態となった場合においても、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話、支援及び機能訓練を行うことにより心身機能の維持回復、社会的孤立感の解消、家族の身体的・精神的負担の軽減を図る事を目的としています。

利用できる方

要介護認定、介護予防・生活支援サービス事業対象者と認定された方。

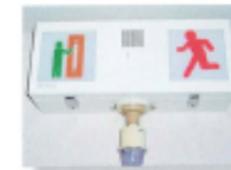


障害者支援施設

# 第2わかふじ寮

平成8年4月1日開設  
〒081-0023 上川郡新得町西3条北1丁目  
TEL 0156-64-5001・FAX 0156-64-5522

- サービスの種類  
生活介護(日中) 定員40名  
施設入所(夜間) 定員40名
- 北海道指定 0114701394
- 建物 2,052.21㎡
- 建設費  
日本自転車振興会補助金 596,477,647円  
社会福祉医療事業団借入金(新得町債務負担) 295,880,000円  
北海道新聞社会福祉振興基金借入金(法人債務負担) 197,900,000円  
新得町補助金 20,000,000円  
72,753,000円  
法人負担金 9,944,647円



居室に設置されているパトライト。来訪者と緊急時に対応しています。



杖の下に入れ、夜間の緊急時に非常ベルと連動して振動する緊急時用パイプレーターがあります。



共生型ホーム

# 「さくらⅠ・Ⅱ・Ⅲ」

●北海道指定 0124701152  
〒081-0033 上川郡新得町西3条南1丁目1-1・2-1



	さくらⅠ	さくらⅡ	さくらⅢ
開設	平成22年8月	平成23年10月	平成24年3月
定員	4名(高齢者2名)	4名(高齢者2名)	6名
建物面積	240.76㎡	240.76㎡	240.76㎡
居室	15.38㎡	13.72㎡	13.72㎡
居間・食堂	28.98㎡	28.98㎡	28.98㎡
建設費	29,788,000円 [内訳] 国庫補助金 29,788,000円	29,757,000円 [内訳] 国庫補助金 29,757,000円	30,807,000円 [内訳] 国庫補助金 21,500,000円 法人負担金 9,307,000円

●利用料 55,000円(家賃・管理費・食費を含む)  
※上記の金額は食事3食を提供した場合の目安の金額となっています。  
※各部屋で使用する光熱水費(電気・水道・灯油・電話)・家財保険等は実費負担です。

5 ●指定共同生活援助事業 さくら  
主に聴覚障害者で、日中は障害福祉サービス事業所等に通り、地域で自立した生活を希望されている方。共同生活住居において食事の提供、相談その他の日常生活上の支援を行います。

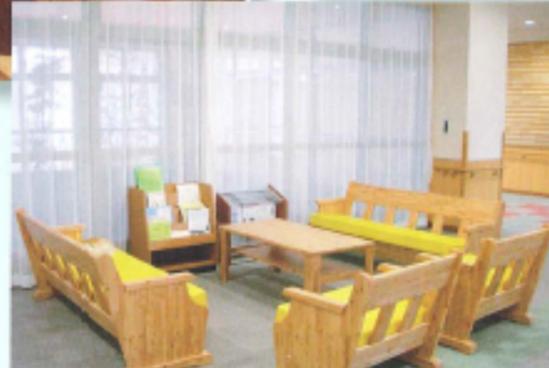
6 ●共生型ホーム さくら  
身の回りの事は自立しているが、1人暮らしには不安のある65歳以上で単身の方。

●利用料の事業所は満18歳以上の主に聴覚障害者の方で、市町村において介護給付・訓練等給付の支給決定を受けた方。

《利用手続き》  
当事業所の概要・支援方針を理解された上で利用契約を結んでいただきます。ご不明な点は当事業所に直接お問い合わせ下さい。お住まいの市町村にご相談下さい。  
※共生型ホームさくらの利用の手続き及び経費については、当施設にお問い合わせ下さい。  
《利用に伴う経費》  
国の制度による一定の給付負担金があります。詳しくは当事業所までお尋ね下さい。  
《工賃》  
作業技術に応じて工賃が支給されます。給付額で毎年見直しを行い昇給もあります。

# がんばり

わかふじ祭の家具製品は、ナラ・タモ・カバ・エゾマツ・トドマツ等、道産の木材を主に使用しています。やさしい木のぬくもりに包まれた丈夫なわかふじ祭のオーダー家具。一度あなただけのオリジナル家具を手にしてみてください。



## これからは、SELP[セルプ]です。

授産の新しい名称がSELP / 社会就労センターです。  
さまざまな障害により、職業的ハンディキャップをもつ私たちは、いま、大きく変わろうとしています。日本におけるノーマライゼーション社会の実現をめがけて、できるだけ自分達の方で自立し、社会参加・就労を果たしていきたい。  
そんな私たちの意思を明らかにするためにSELPという名前を選びました。全国1413か所で働く57,000人のSELPする仲間たちによって繰り広げられるムーブメントに、これからは是非ご注目ください。



■SELP英語のSelf-help (自立自助) からの造語。働いて自分の生活をつくる自立という目標を意味する。  
■制度上の名称「社会就労センター」を将来授産施設に代わる法律用語としていきたいと願っております。

短期入所生活介護事業所

## 新得やすらぎ荘

〒081-0023  
上川郡新得町西3条北1丁目  
TEL 0156-64-5196 FAX 0156-64-6094  
面会時間 / 9:00 ~ 20:00 定員12名

### 目的

短期入所生活介護事業所(ショートステイ)は在宅で生活されている高齢者の介護をされている方が、冠婚葬祭、病気、旅行等のため介護ができない場合や介護疲れを感じたときなどに、ご家族に代わって日常生活の介護を提供します。

### 利用できる方

要介護認定を受け居宅介護支援事業所においての居宅サービス計画に基づいて利用することができます。(要介護度によって利用可能日数が異なります。)

施設利用者と共にクラブ活動や、行事等にも参加していただけます。



地域密着型特別養護老人ホーム

## 新得やすらぎ荘

〒081-0023  
上川郡新得町西3条北1丁目  
TEL 0156-67-7007 FAX 0156-64-6094  
面会時間 / 9:00 ~ 20:00

### 目的

新得町にお住まいの方が要介護状態になっても、住み慣れた町で、穏やかに安心して暮らせるよう支援を行います。

### 利用できる方

要介護認定を受けている要介護度3~要介護度5の方がご利用できます。



平成28年4月 開所

- 定員 20名 (1ユニット10名×2)
  - 建物面積 1,375.10㎡
  - 構造 鉄筋造平屋建
  - 建設費 562,093,000円
- 内訳  
新得町補助金 552,288,000円  
法人負担金 9,805,000円

# 新得やすらぎ荘

〒081-0023  
 上川郡新得町西3条北1丁目  
 TEL 0156-64-5196 FAX 0156-64-6094  
 面会時間 / 9:00 ~ 20:00

平成2年4月 開所

- 定員 50名
  - 併設事業 短期入所生活介護事業
  - 建物面積 1,640.06㎡
  - 構造 鉄筋コンクリート平屋建
  - 建設費 382,551,400円
- 内訳  
 日本自転車振興会補助金 256,727,500円  
 新得町補助金 126,082,300円  
 法人負担金 741,600円



## 施設の理念

1. 明るく楽しく快適な生活環境を提供する。
2. プライバシーを守り、思いや自己決定を尊重する。
3. なじみの関係の中で安心して生活できるように支援する。

## 目的

介護を必要とされる高齢者等が安心して日常生活を営めるように支援を行います。又、聴覚・言語障がい者の方もその人らしい生活ができるように、さまざまなコミュニケーションを取りながら支援を行います。

## 利用できる方

要介護認定を受けている要介護度3～要介護度5の方がご利用できます。

## 年間行事予定

4月	開所記念日	10月	ゲーム大会
5月	お花見・長寿の祝	11月	鍋の会・長寿の祝
6月	ゲーム大会・おやつの日	12月	クリスマス会
7月	ふれあい盆踊り	1月	新年会
8月	七夕・花火大会	2月	鍋の会
9月	秋の味覚祭	3月	長寿の祝



## フロアカーリング

1993年に地元新得町で考案された軽スポーツです。この競技はカーリングの楽しさを誰でも手軽に屋内でできるスポーツとして開発されました。カーリングのストーンにあたるフロッカーに道産のカバの集成材を使い、キャスターをつけて屋内でも競技できるよう工夫されています。わかふじ寮ではこの用具の生産を行なっています。競技は1人から4人まで可能です。用具の販売、競技のルールなど詳しくはわかふじ寮までお問い合わせください。



# よろこび

わかふじ寮の製品は家具ばかりではありません。大きささまざまなウッドクラフトやウエスの生産、販売なども行なっています。施設の利用者はそれぞれ自分の能力に合った作業に従事しています。また技術面、生活面が社会的に自立可能になった場合には就職の斡旋も行なっており、今までに150名の仲間が立派な社会人として社会に巣立っています。

## 木工作業棟

(平成10年7月、平成16年12月整備)  
 建物 921.2㎡  
 建設費 128,572,500円  
 日本自転車協会の補助金 32,215,000円  
 新得町補助金 12,000,000円  
 法人負担金 84,357,500円



## 軽作業棟

(平成16年12月整備・平成25年3月増築)

■平成16年整備  
 建物 382.32㎡  
 建設費 23,394,000円  
 寄付金付お年玉付  
 郵便事業等附会補助金 6,573,000円  
 法人負担金 16,821,000円

■平成25年増築整備  
 建物 149.058㎡  
 建設費 18,427,000円  
 国庫補助金(基礎整備事業) 18,427,000円



主にウエス作業を行っています。

## 看板事業

大型看板・車体看板・横断幕など様々な看板を製作します。デザインから施工まで一貫した工事を行います。



## ペットフード生産事業 わかふじ佐幌工場

(平成19年10月整備)

平成19年10月より日本財団の補助を主財源に、新得町より貸与を受けた旧佐幌小学校を改修し、新たな生産事業としてペットフードの生産を行なっています。鹿肉、シヤケ、コック等の北海道産の安全、安心な食材を利用し、利用者の工賃増を目指しています。



建物 1,268.557㎡ 日本財団補助金 21,400,000円  
 整備費 32,340,000円 法人負担金 10,940,000円

## わかふじワークセンター就労訓練棟

(平成21年2月整備)



パンの製造及びペットのおやつ包装作業を行なっています。

建物 197.36㎡  
 建設費 22,155,000円  
 平成20年度障害者基礎整備事業  
 自立支援対策推進費補助金 20,000,000円  
 法人負担金 2,155,000円



## パン工房 わかふじ

(平成11年2月 開店)

営業時間 10:00~18:00  
 定休日 日曜日・月曜日・祝日  
 住所 上川郡新得町西3条北1丁目  
 電話 0156-64-5133



## 居宅介護支援事業所

# 新得やすらぎ荘

所在地	〒081-0023 上川郡新得町西3条北1丁目
連絡先	電話番号: 0156-69-5110 FAX: 0156-64-3157
実施地域	新得町内
営業時間	9:00~17:30
営業日	月曜日~土曜日(12月31日~1月3日、8月13日~8月15日を除く)

### 目的

要介護又は要支援認定を受けられた方々が安心して日常生活を営むことができるよう、ご本人、ご家族の相談を受けながら総合的かつ適切な介護・福祉サービスが受けられるよう介護支援専門員が支援を行います。  
 ※介護支援専門員とは、福祉等の分野で一定の実務経験があり、所定の試験や研修を終了した介護の専門家、介護の相談やサービスを受けるときの窓口になります。

### 利用できる方

介護についてお悩みの方は、どなたでもご相談下さい。  
 料金は無料です。



## 訪問介護事業所

# 新得やすらぎ荘

所在地	〒081-0023 上川郡新得町西3条北1丁目
連絡先	電話番号: 0156-69-5100 FAX: 0156-64-3157
実施地域	新得町・鹿追町内
営業時間	9:00~17:30
営業日	月曜日~土曜日(12月31日~1月3日を除く)

### 利用できる方

介護認定を受けた高齢者の方、または介護予防・生活支援サービス事業対象者の方および18歳以上の身体障害者で市町村が行う障害福祉サービス利用に伴う支給決定を受けた方。

### サービス内容

心身及び生活の状況を踏まえてその有する能力に応じて、必要な日常生活を営むことができるように、入浴、排泄、食事、外出時の介護、その他生活に必要な支援を行います。

### その他の事業

- 居宅介護事業(障害ヘルパー)
- 福祉有償運送事業
- コミュニケーション支援事業(手話通訳)
- 介護職員初任者研修事業



聴覚障害者養護老人ホーム

# やすらぎ荘



昭和56年4月 開所  
平成26年8月 移転改築

- 定員 50名
  - 併設事業 居宅介護支援事業、通所介護事業、訪問介護事業
  - 建物面積 2979.74㎡
  - 構造 木造（一部鉄骨）
  - 建設費 749,485,608円
- 内訳  
 北海道補助金 233,755,000円  
 新得町補助金 211,600,000円  
 社会福祉医療事業団借入金 180,000,000円  
 法人負担金 124,144,608円



聴覚障害者用の情報伝達装置



〒081-0023  
上川郡新得町西3条北1丁目  
TEL 0156-64-6938 FAX 0156-64-3157  
面会時間 / 9:00 ~ 20:00

## 施設の理念

1. その人らしい自由な生活を支援していく。
2. 聴覚障害者、個々のニーズにあった支援をしていく。
3. 心地よい清潔な環境を提供する。

## 目的

聴覚・言語障がい者で身体障害者手帳を所有する高齢者が家庭的で安心した生活を送ることのできる施設として設立された聴覚障害者専用の養護老人ホームです。手話を主に身振り等さまざまなコミュニケーションを取りながらその人らしい生活を支援します。

## 利用できる方

65歳以上で身体障害者手帳を所持する方がご利用できます。  
介護が必要になった時は施設内でヘルパーが利用できます。また更に重度化した場合は優先的に併設している特別養護老人ホームをご利用いただけます。



社会福祉法による授産施設

# 厚生協会新得白生舎

〒081-0023 上川郡新得町西1条北1丁目54番地  
TEL 0156-64-5209 FAX 0156-64-5345

- 授産種目 クリーニング及び付帯作業  
 定員 20名  
 営業日 月曜日～土曜日  
 営業時間 平日 8時30分～16時45分  
 土曜日 8時30分～14時45分

- 敷地面積 4,024.74㎡
  - 建建築面積 445.76㎡
  - 総工費 169,214,000円
- 内訳  
 北海道補助金：52,860,000円  
 新得町補助金：112,000,000円  
 法人負担金：4,354,000円

## 施設の概要・沿革

- 昭和36年 新得町母子会授産所としてクリーニング事業を開始する。
- 昭和42年 財団法人として認可を受ける。
- 昭和44年 新得町本通南2丁目にクリーニング工場が竣工する。
- 昭和53年 社会福祉法人として認可され、社会福祉事業授産施設新得白生舎となる。
- 平成25年 社会福祉法人厚生協会への吸収合併により厚生協会新得白生舎としてクリーニング事業を継続する。
- 平成27年3月 北海道及び新得町からの補助を受けた老朽移転改築を竣工し、新得町西1条北1丁目54で新工場でのクリーニング事業を開始する。

## 目的

心身の障害及び世帯の事情による要保護を理由とする方を対象に、就労又は技能の習得のために必要な機会及び便宜を与えるよう授産事業を行い、自立を図ることを目的としています。



# 屈足わかふじ園

平成12年 4月1日…開所  
平成21年11月1日…新体系移行



〒081-0151 上川郡新得町屈足旭町1丁目  
TEL 0156-65-2001 FAX 0156-65-2003

- 北海道指定 0114701055
- 建設費 969,048千円
 

国庫補助金	306,139,000円
道費補助金	153,072,000円
社会福祉医療事業団借入金 (新得町債務負担)	200,000,000円
北海道新聞社会福祉振興基金借入金	20,000,000円
新得町補助金	283,270,000円
法人負担金	6,567,000円

- 施設の概要
- 定員 ○生活介護事業(日中): 定員55名(旧デイサービス事業3名を含む)
- 施設入所支援(夜間): 定員52名
- 併設事業 短期入所事業(ショートステイ) 定員3名
- 敷地面積 12,958.90㎡
- 建物構造 鉄筋コンクリート造り平屋建
- 建物面積 3,516.74㎡

## ●施設的环境

新得町の屈足地区にあり、市街地に隣接しており、静かな中にも地域交流が積極的に図れる場所にあります。

## ●施設の特徴

- ・平屋で段差がなく、車椅子の方が安心して生活できる構造になっています。
- ・居室は全て個室で、プライバシーが保たれます。
- ・小舎制になっており、ゆったりとした生活空間が確保されています。
- ・ベッドは全て電動リクライニングベッドを使用しています。
- ・身体の状態に応じた入浴設備が整っています。

## ●施設を利用できる方

18歳以上の障害者の方で、市町村において入所支援支給の決定を受けた方が利用できます。

## ●利用手続

当施設の概要・支援方針を理解された上で利用契約を結んでいただきます。ご不明な点は当施設に直接お問い合わせ下さるか、お住まいの市町村にご相談下さい。

## ●利用に伴う経費

国の制度による一定の自己負担があります。詳しくは当施設までお尋ね下さい。

## ●施設の体系

### 生活介護事業

…日中の活動支援を行ないます。

### サービス内容

- ・日常生活動作(食事・入浴・排泄等)の介護の提供。
- ・身体機能及び日常生活の維持向上のための支援。
- ・創作的活動又は生産活動の機会の提供。
- ・レクリエーション、余暇活動、行事の提供。

### 施設入所支援

…住まいの場として基本的な生活支援を行ないます。

### サービス内容

- ・夜間における排泄等の介護の提供。
- ・日常生活上の相談支援等の提供。
- ・健康管理の提供。

### 短期入所サービス(ショートステイ)

…在宅で生活されている障害をお持ちの方が、介護者の病気・冠婚葬祭・旅行等の理由で一時的な介護を必要とされる場合にご利用いただけます。

### サービス内容

- ・施設入所支援と同じサービスが受けられます。
  - ・必要に応じて送迎(移動支援又は福祉有償運送)の利用も可能です。
- (※ご利用期間については、ご相談下さい。)

